





令和8年5月12日
日立市産業経済部観光振興課

第29回全国納豆鑑評会での受賞に係る表敬訪問について（お知らせ）

標記について、下記のとおり表敬訪問を受けますので、御案内申し上げます。
つきましては、取材及び記事の掲載等について御配慮賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日程 令和8年5月18日（月）午後3時30分から
- 2 場所 日立市役所 秘書課応接室（本庁舎4階海側）
- 3 来庁者 有限会社菊水食品 代表取締役 菊池 啓司 氏 ほか
- 4 市対応者（予定） 日立市長 小川 春樹
日立市副市長 梶山 隆範 ほか
- 5 内容 第29回全国納豆鑑評会（令和7年11月21日開催）での受賞報告

受賞内容	受賞商品	
小粒・極小粒部門 農林水産省大臣官房長賞 （優秀賞）	茨城パンダ納豆わらつと	
大粒・中粒部門 農林水産省大臣官房長賞 （優秀賞）	菊水の大黒	

【全国納豆鑑評会について】

- (1) 主催 全国納豆協同組合連合会
 - (2) 概要 毎年開催され、納豆の製造技術改善と品質の向上を目指して行われる審査会。今回は、全国68メーカー、176点が出品された。
納豆の「外観（見た目）」「香り」「味・食感」の3つの項目を評価。5点満点で審査され、最優秀なものに対して農林水産大臣賞が送られる。研究者、文化人、食品関係者、省庁関係者など各分野の専門家17名が審査。
- 6 その他 詳しくは、別添「記者配布用資料」を御確認ください。

【問合せ】日立市産業経済部観光振興課（担当 小澤）

TEL 0294-22-3111（内線791）

有限会社菊水食品の全国納豆鑑評会における受賞に伴う市長表敬について

- 1 訪問日時 令和8年5月18日(月)午後3時30分から午後4時まで
- 2 訪問者 有限会社菊水食品(東大沼町)
代表取締役 菊池 啓司 氏 ほか
- 3 目的 受賞報告及び納豆造りに取り組む思いなどを説明します。
- 4 受賞した全国納豆鑑評会の概要

(1) 第29回全国納豆鑑評会(開催:福島県郡山市、令和7年11月21日(金))

ア 主催 全国納豆協同組合連合会

イ 概要 毎年開催され、納豆の製造技術改善と品質の向上を目指して行われる審査会。納豆の「外観(見た目)」「香り」「味・食感」の3つの項目を評価。5点満点で審査され、最優秀なものに対して農林水産大臣賞が送られる。研究者、文化人、食品関係者、省庁関係者など各分野の専門家17名が審査。

受賞内容	受賞商品	備考
小粒・極小粒部門 農林水産省大臣官房長賞(優秀賞)	茨城パンダ納豆わらつと (※1)	全国68メーカー、 176点が出品
大粒・中粒部門 農林水産省大臣官房長賞(優秀賞)	菊水の大黒(※2)	

※1 国産大豆使用し、天然わらで包んだ昔ながらの納豆。納豆臭が控えめで柔らかく、豆の甘みを感じやすい。日立市のパンダ誘致応援から生まれた商品で、パンダのパッケージが特徴的である。



※2 北海道の平譚(ひらわけ)農場で採れる、栽培期間中の肥料・農薬不使用の黒大豆大粒を100%使用。黒豆ならではの甘みと上品な発酵の香りと、大粒ならではのもっちりとした歯ごたえがある。



- 5 資料 有限会社菊水食品について 別紙1

以上

有限会社菊水食品について

1 歴史

時期	内容
昭和 23 年	敬司氏の祖父の猛次郎氏と父の康隆氏が、菊池の「菊」と地名の水木から「水」を取って「菊水納豆製造所」を創業。
昭和 57 年	父の緊急入院がきっかけで、敬司氏が建設会社を退職し、菊水納豆製造所を承継。
昭和 63 年	菊水納豆製造所を法人化（有限会社菊水食品）。手造りの納豆「菊水ゴールド納豆」を考案して商品化。
平成 16 年	改良を続けた「菊水ゴールド納豆」が、平成 16 年に第 9 回全国納豆鑑評会で、優秀賞「厚生労働省医薬食品局食品安全部長賞」を受賞。
平成 20 年	「海洋ミネラル納豆ミニ 2」が、平成 20 年の第 13 回全国納豆鑑評会で、日本一旨い納豆の称号である最優秀賞「農林水産大臣賞」を受賞。

2 菊水食品の主な商品について

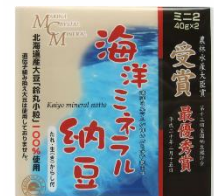
(1) 高級志向に対応した商品「菊水ゴールド納豆」

金のインゴットにつつまれた納豆。金箔が口の中で広がる豪華で上品な「菊水ゴールド納豆」。機械を使わずに 1 本 1 本丁寧に手作業で製造しているこだわりの逸品。



(2) 健康志向に対応した商品「海洋ミネラル納豆ミニ 2」

MCM(マリーナ・クリスタル・ミネラル)を使用した今までにない納豆「海洋ミネラル納豆」。MCMは吸収がよく、わずかな量で不足しがちなミネラル分を補える。



(3) 環境問題に対応した商品「頑固一徹」「ひたちのなっとう」

「家庭のゴミを減らす納豆が欲しい」との声を受け、納豆自体を経木（薄い木の板）で包みパッケージを紙にした「頑固一徹」や「ひたちのなっとう」を開発するなど、環境へ配慮した商品の開発も行っている。



(4) 地域に根差した商品「黒豊納豆」

茨城にとって伝統食である納豆。原材料も茨城県産「納豆用黒大豆小粒」を使用した「黒豊納豆」は日立市の学校給食に採用されるなど、地産地消にも貢献している。



3 これまでの全国納豆鑑評会での受賞歴

時期	結果	銘柄
H16(第9回)	厚生労働省(極小・小粒部門) 医薬食品局食品安全部長賞	菊水ゴールド納豆
H20(第13回)	農林水産大臣賞	海洋ミネラル納豆ミニ2
H23(第16回)	小粒・極小粒部門 厚生労働省 医薬食品局食品安全部長賞(優秀賞)	黒豊
H25(第18回)	小粒・極小粒部門 納親会長賞(優良賞)	ひたちのなっとう
H27(第20回)	ひきわり大豆部門 全国納豆協同組合連合会長賞(特別賞)	スリムはこいり娘 (ひきわり娘)
H28(第21回)	ひきわり大豆部門 全国納豆協同組合連合会長賞(特別賞)	はこいり娘 (ひきわり娘)
H30(第23回)	小粒・極小粒部門 全国納豆協同組合連合会長賞(優良賞)	なちゆるるなっとう
R6(第28回)	大粒・中粒部門 全国農業協同組合連合会 経営管理委員会会長賞(優秀賞)	菊水の大黒

以上